

平湯大滝

平湯大滝は日本の名瀑百選、岐阜の名水50選に選ばれている滝です。

落差64mの直瀑は痛快なまでに垂直に水を落とします。その大きな落差で水は飛沫となり瀑風に乗ってあたりに広がります。

この滝は、南にそびえる乗鞍岳の火山活動によって作り出された滝です。滝のまわりをよく見ると、U字の形をした岩盤が見えます。この岩盤は4万年前に乗鞍の北部、四ッ岳の噴火により流れ出した溶岩なのです。溶岩流の先端は平湯温泉スキー場近くまで到達したようです。

溶岩の下を見ると、下の地盤との間にすき間ができています。溶岩の下は岩盤ではなく堆積した土砂のようです。

溶岩の流れの中央部に、四ッ岳周辺に降った雨が寄せ集められて流れ下るようになりました。溶岩も流れる水に浸食されます。平湯温泉スキー場あたりにあった溶岩流の先端部は浸食され、滝はしだいに後ろへ下がりが現在の位置までやってきたようです。

平湯大滝周辺では、遠い海の底で生まれた岩石、乗鞍の山崩れの土砂、四ッ岳の溶岩を見ることができるとのことです。

(直井 幹夫)

【問合せ】 飛驒山脈ジオパーク推進協議会

☎ 0578-84-0038

